

情報セキュリティとフレキシビリティを両立させる 二次元LAN(LANSheet)通信手法

製品概要

LANSheetは、無線LANの電波を二次元の面(シート)に封じ込める新しい発想のLANシステムです。オフィスの執務や会議室、ミーティングのテーブルにセットすることで、そのテーブルを利用する人だけが簡単に安心して使える無線LANの環境を提供します。無線LAN対応のパソコンや機器を、シートの上に置くだけで、ネットワークに接続します。



<コネクトレス>

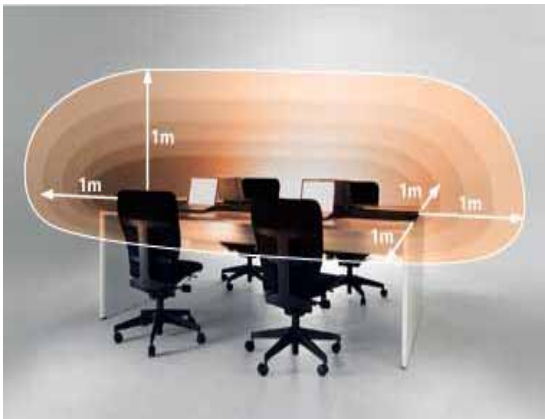
シートの上に置くだけでネットワークに接続できるので、面倒なケーブルやコネクタへの接続から解放されます。シート上では差込口の数に制限されず、無線LAN同等の自由度が確保されます。

<セキュリティ>

シートから離れたパソコンはネットワークに接続できません。暗号化と組み合わせることでより強固なセキュリティを実現し、離れた場所にいる悪意ある第三者のネットワークへの不正侵入やデータの不正傍受を防止します。

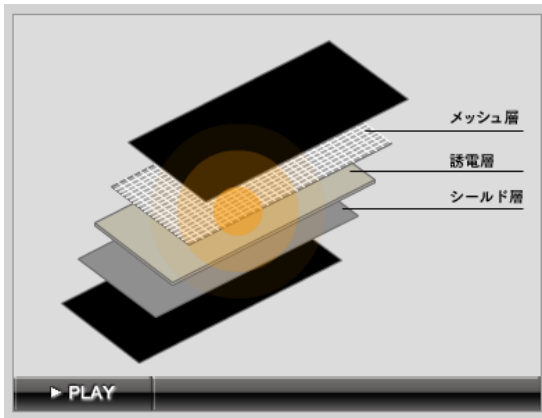
<簡単導入>

無線LAN導入に必要なサイトサーベイも、シートごとに無線LAN環境が構築できるため、簡素化できます。また既に有線LANをお使いの場合、テーブルまで来ている現状のケーブルにアクセスポイントをつなぐだけで、新たな配線工事が不要です。



< LANシートの構造 >

LANシートは、通信媒体がメッシュ層・誘電層・シールド層を積層した三層構造になっており、無線LANの電波をLANシートから飛ぶ電波の強度をおさえることでシート内を伝搬させます。

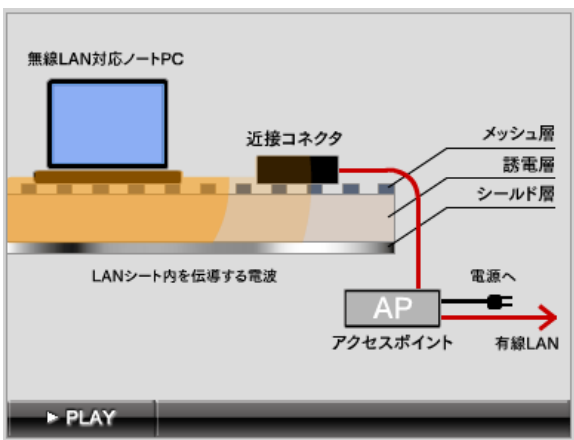


< システムのしくみと構造 >

システムの機器構成は、LANシートとLANケーブルの信号を無線LAN信号に変換するアクセスポイント。アクセスポイントから出る電波を効率的にLANシートに流す近接コネクタ(カプラ)で構成されています。



アクセスポイントに接続している近接コネクタよりLANシートに入力された電波は、シート上面のメッシュ層を伝わります。電波はメッシュ層より染み出し、無線LAN対応のパソコンはこの電波を受信し通信が確立します。



LANシートはこんな空間に利用できます



会議室

LANシートは電波を封じ込めることで、来客エリアにある会議室などでの情報漏えいの危険性を低減します。来客者の急な増減にも対応できるだけでなく、来客者のホットスポットとしての利用にも最適。また、LAN対応のプロジェクトと組み合わせることで、スマートなプレゼンテーションを実現します。



ペーパーレスミーティング

ネットワーク上につながっている大型モニターを用いて、ノートPCの画像を共有して見ることで、ペーパーレスな会議を可能にします。



多目的会議室

有線ケーブルが煩雑で本数が足りなかったりした会議室も、LANシートと組み合わせることで配線がスッキリできます。緊急災害対策室など、イレギュラーな会議にも迅速に対応できます。

LANシートはこんな空間に利用できます

フリーアドレス



無線LANのようなオフィス全体への工事・調査が不要なので、フリーアドレスオフィスを容易に実現。PCをシートに置くだけでネットワーク接続が可能なので、可変する人数に柔軟に対応できます。またシート上でアクセスするPC数をひとめで把握できるので通信速度の低下を防ぐことも可能です。



プロジェクトルーム

アクセスポイントごとにデータへのアクセスを制御できるので、エリアごとのネットワーク管理が可能です。このゾーンセキュリティ機能と、プロジェクトルームへの入退室管理とを併用することで、これまでの様にPCの特別な設定をすることなく、社内における情報漏えいを防ぐことができます。



LANスポット

社内ネットワークと別のネットワークのLANスポットを作ることができるので、社外のお客様も安心して外部への通信が可能になります。ケーブル配線などのメンテナンスの手間が、有線LANに比べて簡単になります。